

ビュートミニ用 赤外線センサ 取扱説明書

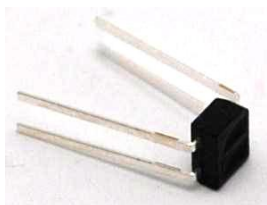
Vstone®

Ver1.1

本製品はビュートミニに標準搭載されている赤外線センサを増設するオプションです。ロボットには赤外線センサを最大6個まで搭載できます。本取扱説明書、以下の注意点をよく読み、正しくお使いください。

- ⚠ 本製品は組立てキットです。電子部品を基板上にハンダ付けしていただく必要があります。
- ⚠ キットという特性上、動作について必ずしも保証するものではありませんので、ご了承ください。
- ⚠ 本体の隙間、内部に金属やピンなどの異物を入れないでください。ショートして発火、火災、感電などの原因になります。
- ⚠ 本体に水をかけないでください。ショートして発火、火災、感電などの原因になります。
- ⚠ 赤外線センサの取り付け方向に注意し、よく確認した上、確実に接続してください。

■ パーツリスト



赤外線センサ ×2



抵抗 (100Ω) ×2
(茶・黒・茶・金)



抵抗 (15kΩ) ×2
(茶・緑・橙・金)

■ 部品の実装

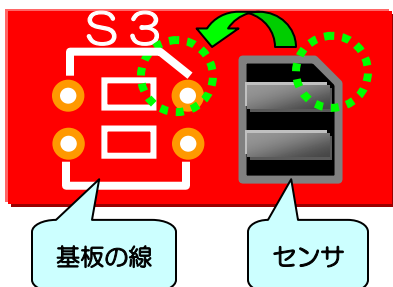
【①】赤外線センサは、ロボット前方のS3,S4,S5,S6の箇所に取り付けます(S1,S2には既にセンサが実装されています)。それぞれの場所には、基板の表側に「15k」「100」という表記があり、ここにそれぞれの抵抗をはんだ付けします。また、裏側のS3～S6の位置に赤外線センサをはんだ付けします。

実装の注意点

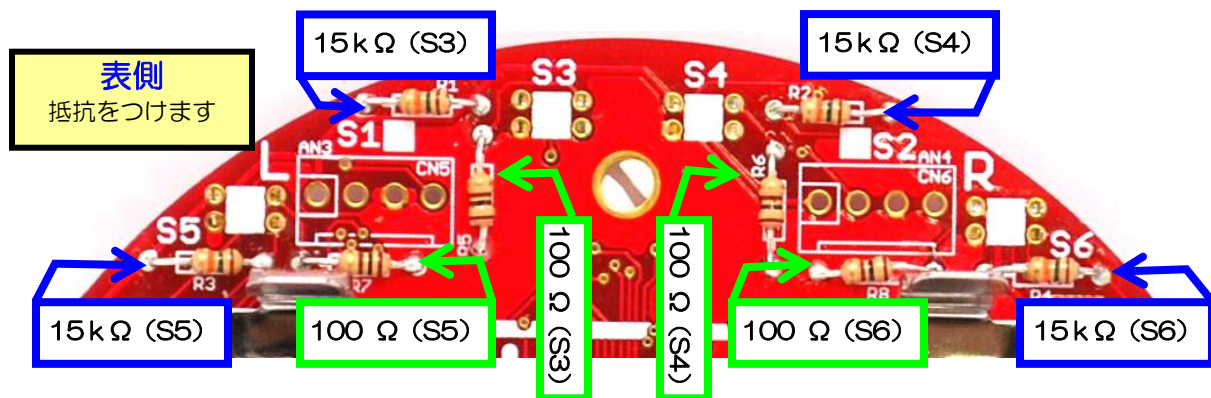
センサの切り欠きは、
白い線にあわせてください。

抵抗は足を曲げて固定してから
はんだ付けしてください。

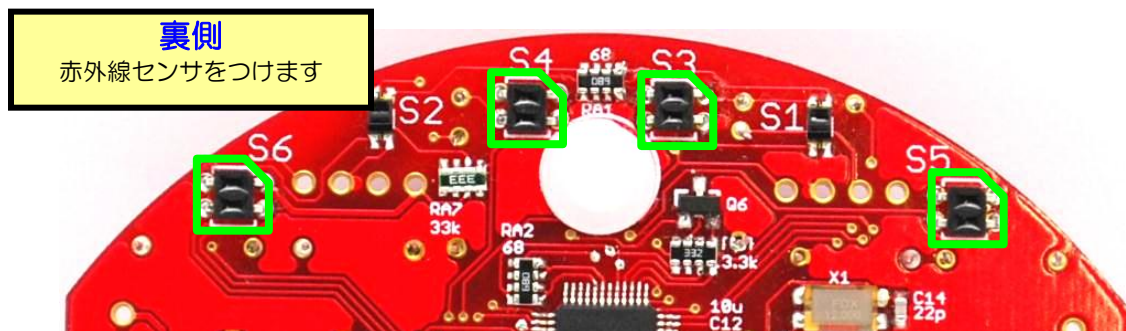
はんだ付け後に、ニッパーで
部品の足を切り取ってください。



基板の表裏、また、抵抗の種類を間違えないようにしてください。



赤外線センサは、正しい向きで取り付けてください。



■プログラムからの利用

赤外線センサを追加すると、ビュートビルダー2 のメモリマップのセンサ 3~4、センサ 6~7 に、それぞれ S3,S4,S5,S6 のセンサ情報が代入されます。また、C 言語の場合、ADRead 関数からセンサ情報を取得できます。

■オプションパーツ、関連商品のご購入は・・・

No.1 の品揃え！ 各種オプションパーツ、ロボット関連製品のご購入はコチラ

<http://www.vstone.co.jp/robotshop/>

楽天・Amazon・Yahoo の各 Web 店舗、または東京、福岡の各ロボットセンター店頭でもロボット関連商品をお買い求めいただけます。

ロボットセンター東京秋葉原店 (東京支店)

〒101-0021

東京都千代田区外神田 1-9-9 内田ビル 4F

ロボットセンターロボスクエア店 (福岡支店)

〒814-0001

福岡市早良区百道浜 2-3-2

TNC 放送会館 2F ロボスクエア内

商品に関するお問い合わせ

商品の技術的なご質問は、問題・症状・ご使用の環境などを記載の上メールにてお問い合わせください。

E-mail: infodesk@vstone.co.jp

受付時間 : 10:00~17:00 (土日祝日は除く)

ヴイストーン株式会社

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島 2-15-28

TEL : 06-4808-8701 FAX : 06-4808-8702

Vstone[®]
www.vstone.co.jp